

注：指示があるまで開けないで下さい。

総合防犯設備士資格認定試験

第一次試験(筆記方式)

B 専門問題 (選択)	
出題	4 問中 2 問選択
時間	60 分
配点	1 問 100 点・合計 200 点

受験番号	— —
氏 名	

注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。別紙図面にも受験番号・氏名を記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 選択した設問の上部の空欄に○印を付けてください。**3 問以上選択すると無効になります。**
6. 「試験問題」「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
7. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
8. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



選択

B 問題 - 1 (機器関連)

防犯カメラについて、次の二つの問いに解答せよ。

- (1) 防犯カメラのAHDカメラシステム方式(同軸アナログHD方式)と下記のカメラシステムを比較した場合、AHDカメラシステムの特徴を記せ。

NTSC方式(アナログカメラ方式)との比較

①	
②	
③	

ネットワーク方式(IP-IF方式)との比較

①	
②	

次頁に続く

③	
④	

- (2) 防犯カメラで撮影された個人が特定できる映像情報は、個人情報保護法上の「個人情報」に該当する。防犯カメラの運用管理について、注意しなければならない点を記せ。

①	
②	
③	

B 問題 - 2 (施工関連)

別図は、食品会社の工場配置図である。この工場の外周(G1-1)に赤外線ビーム検知器(多段検知型)を設置するに当たり、誤報・失報対策なども含めた施工上の留意点を記入例にならって4項目(解答欄の②、③、⑤、⑥)に要約して記せ。

又、当該地区は雷が多発する。被雷により赤外線ビーム検知器(多段検知型)が機能を失った場合でも、工場外周(G1-1)からの侵入を阻止したい。将来的に複合的に追加設置する適切な検知器を記し、その検知器を選択した理由、施工・維持管理上の留意点を簡潔に記せ。

工場敷地の東側及び北側の隣地境界線は、高さ2mのブロック塀。南側及び西側の外周には高さ1.2mの高強度アルミ合金製フェンス(タテ格子ピッチ15cm)を設けている。構内(緑地部)の植栽は、高さ3~4m程度、GLから2~2.5mくらいまで枝打ちをされており、防犯上の視認性確保に配慮している。

赤外線ビーム検知器は、既設のモーションディテクター(VMD)機能搭載の防犯カメラ(図中M記号・9台)やコンビネーションカメラ(PTZ機能搭載図中C記号・9台)と系統的に併用して、万全の侵入監視システムを構築する。設備配置図は、おおよその設置位置を示すもので、侵入検知が最大限有効になるよう現場合わせの上、施工すること。

配線工事は、別途工事とする。

【赤外線ビーム検知器検知器取付け及び調整に伴う留意点】

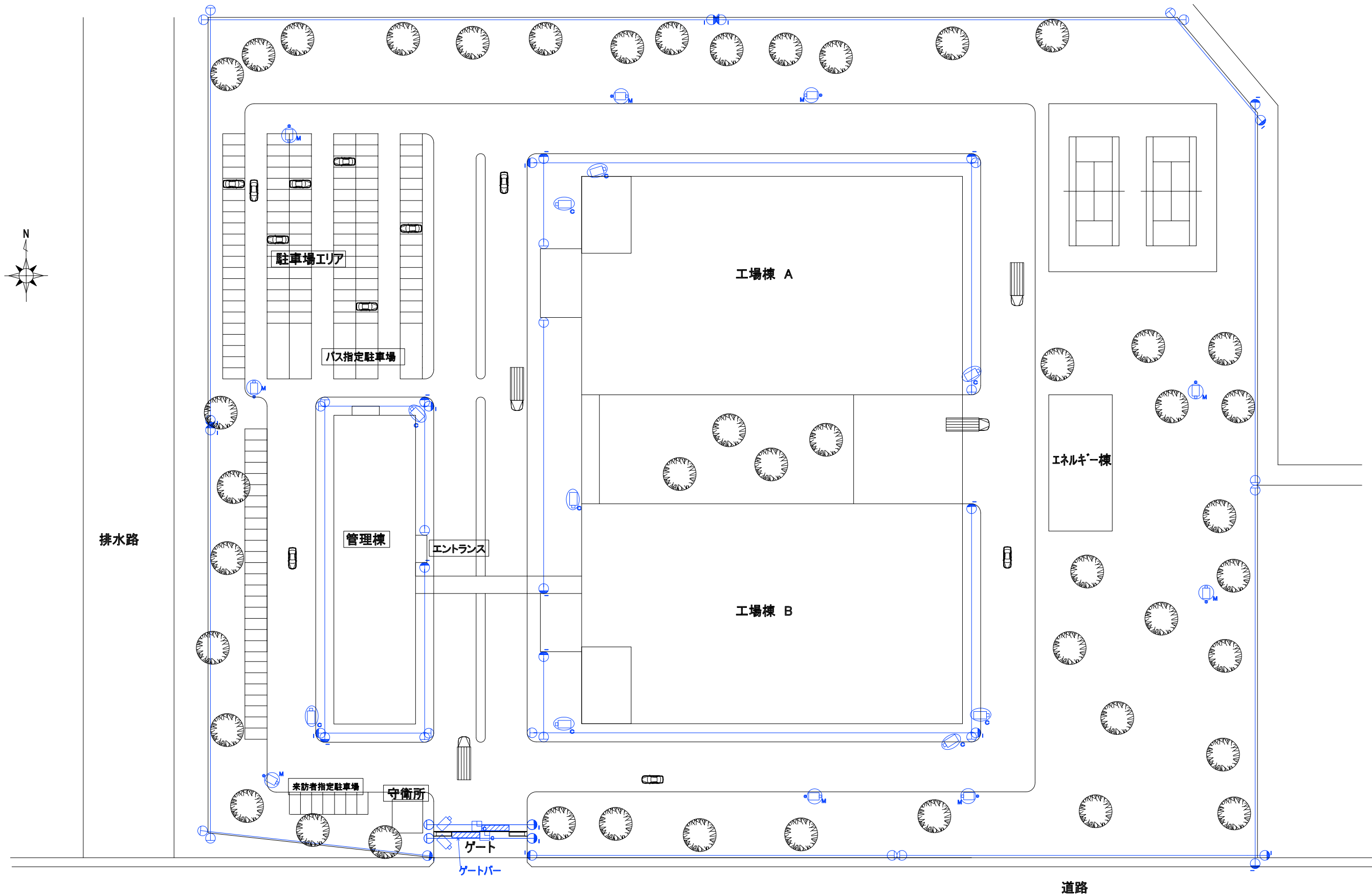
①	<p><u>検知器の配置・位置決めについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設計図書と現場の状況を精査し、設置位置を決定する。変更する場合は、設計者へ報告する。 ● 仕様書や取扱い説明書を精査し、有効な検知範囲が確実にとれるよう設置場所を決定する。
②	<p><u>取り付け、結線について</u></p>
③	<p><u>検知器の光軸調整について</u></p>

次頁に続く

④	<p><u>降霜、濃霧による誤報対策について</u></p> <ul style="list-style-type: none">● 検知カバーに霜が付着しないようにヒーターを検知器に内蔵するか、外付けヒーターを装着する。電源容量に注意すること。● 検知器のカバーに霜が付着しないよう検知器にフード(庇)を設ける。● 感度余裕の減衰を考慮し、長距離仕様の検知器を選定する。● 光軸のずれが生じないように調整を実施すること。
⑤	<p><u>小動物などによる誤報、侵入対策について</u></p>
⑥	<p><u>調整・試験・取り扱い説明について</u></p>

【被雷に強い外周警戒に適している検知器とその選択理由について2つ記せ】

⑦	<p>i)</p> <p>ii)</p>
---	------------------------



B 問題 - 3 (警備関連)

1. 警備業法第2条では、「警備業とは、他人の需要に応じ、営利の目的をもって警備業務を反復継続して行うことをいう。」としており、警備業務を以下の四つの種類に区分している。④の例にならって下表の空欄を埋めよ

①	1号警備		
②	2号警備		
③	3号警備		
④	4号警備	身辺警備	人の身体に対する危害の発生を、その身辺において警戒し、防止する業務

次頁に続く

2. 警備業法第2条第5項で規定している機械警備業務の定義を記せ。

--

3. 機械警備業について

- ① 各都道府県公安委員会規則による機械警備業者の「即応体制の整備の基準」の内容を記せ。
- ② 即応体制に関する努力義務の内容を記せ。

①	
②	

選択

B 問題 - 4 (設計関連)

出入管理システムで使用するバイオメトリクス認証装置を識別手段又は識別方式で分類して 5 種類あげ、それぞれの長所と短所を記入例にならって記せ。

	バイオメトリクス 認証装置の種類	長所	短所
①	掌形認証	<ul style="list-style-type: none"> ・使い易い ・指の長さ、幅及び側面からの厚みをカメラで捉えデータ化して個人認証 ・環境変化には強い 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作部が大きい ・認証精度はあまり高くない ・読み取り台への接触から、生理的、心理的抵抗が大きい
②			
③			

次頁に続く

④			
⑤			
⑥			